



平成22年4月8日

各 医 師 会
感染症危機管理担当理事 殿

福 岡 県 医 師 会
感染症危機管理担当理事
原 口 宏 之
(公 印 省 略)

新型インフルエンザワクチン接種後副反応報告
及び推定接種者数について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今般、別添のとおり、厚生労働省において、平成22年3月24日時点の新型インフルエンザワクチンの接種後副反応報告状況、及び推定接種者数が取りまとめられ、日本医師会より別紙のとおり通知がありましたのでご連絡いたします。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、会員各位への周知方よろしくお願いいたします。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 権藤秀之
新型インフルエンザ対策委員会
会長 蒲池 壽

(地Ⅲ296)

平成22年3月29日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

飯 沼 雅 朗

新型インフルエンザワクチンの接種後副反応報告
及び推定接種者数について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今般、別添のとおり、厚生労働省において、新型インフルエンザワクチン接種後副反応の報告状況、及び推定接種者数が取りまとめられ、本会宛に情報提供がなされました。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただき、貴会管下郡市区医師会、関係医療機関に対し、周知方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

新型インフルエンザワクチンの接種後副反応報告 及び推定接種者数について

1. はじめに（医療関係者の皆様へ）

新型インフルエンザワクチンを安全に接種いただくために

(1) 一般的な注意

- アレルギー・ぜんそくの既往のある方への接種については、適切な準備と対応をして接種に当たるよう注意をお願いいたします。
- アレルギー・ぜんそくの既往のある方への接種については、ワクチン接種後、少なくとも30分後までは、健康状態をご確認ください。

(2) 重い基礎疾患をお持ちの患者さんは、風邪やワクチン接種などの刺激により、病気の状態が悪化する可能性もありますので、接種の適否を慎重に判断していただくようお願いいたします。

- 実施要領に記載されているとおり、呼吸器*、心臓又*はじん臓*の機能に自己の身の辺の日常生活が極度に制限される程度の障害を有する方及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する方への接種に際しては、主治医及び専門性の高い医療機関の医師に対し、必要に応じて、接種の適否について意見を求め、慎重に判断してください。

* 代表的な疾患の例

呼吸器：間質性肺炎、気管支喘息、肺気腫、慢性呼吸不全、慢性閉塞性肺疾患、肺炎、

肺がん、肺線維症、慢性気管支炎

心臓：心不全、狭心症、心筋梗塞

じん臓：慢性腎不全

2. 副反応の報告状況

平成21年10月19日（月）より接種が開始された新型インフルエンザワクチンについて、副反応報告※の状況と前回（3月5日（金））公表以降に報告された内容の詳細を以下に示します。また、医療機関納入量から推定される接種者数に基づく副反応報告頻度の情報も示します。

※ 予防接種による副作用を副反応と呼んでいます。

(1)「受託医療機関における新型インフルエンザ（A／H 1 N 1）ワクチン接種実施要領」に基づき医療機関から報告されたもの（自発報告）（3月24日報告分まで）

① 報告全体（国産ワクチン）

（単位：例（人））

接種日※	推定接種者数 （回分）	副反応報告数 （報告頻度）	うち重篤報告数	
			（報告頻度）	死亡報告数 （報告頻度）
10/19－10/25	864,862	3 2 2	2 5	1
		0.04%	0.003%	0.0001%
10/26－11/1	711,088	3 7 8	2 7	0
		0.05%	0.004%	0.0%
11/2－11/8	523,196	2 1 0	2 4	3
		0.04%	0.005%	0.0006%
11/9－11/15	2,502,707	1 5 0	2 3	1 1
		0.006%	0.0009%	0.0004%
11/16－11/29	1,416,579	4 9 8	1 2 8	6 0
		0.04%	0.009%	0.004%
11/30－12/ 6	3,304,098	1 4 7	3 9	1 4
		0.004%	0.001%	0.0004%
12/ 7－12/ 13	880,028	1 7 7	4 0	1 3
		0.02%	0.005%	0.001%
12/ 14－12/ 20	4,716,269	1 1 8	2 1	7
		0.003%	0.0004%	0.0001%
12/ 21－ 12/ 27	1,552,976	9 0	2 0	9
		0.006%	0.001%	0.0006%
12/ 28－ 1/10	2,267,410	6 8	1 4	3
		0.003%	0.0006%	0.0001%
1/11－ 1/17	725,860	4 4	1 0	1
		0.006%	0.001%	0.0001%
1/18－ 1/24	897,810	5 1	8	1
		0.006%	0.0009%	0.0001%
1/25－ 1/31	1,094,749	5 3	1 0	2
		0.005%	0.0009%	0.0002%
2/ 1－ 2/ 7	609,118	4 2	1 0	3
		0.007%	0.002%	0.0005%

2/ 8— 2/14	389, 509	2 9	6	1
		0. 007%	0. 002%	0. 0003%
2/ 15— 2/21	274, 772	1 3	1	1
		0. 005%	0. 0004%	0. 0004%
2/ 22— 2/28	4, 155	8	3	1
		0. 2%	0. 05%	0. 02%
3/ 1— 3/ 7	51, 347	5	0	0
		0. 01%	0. 0%	0. 0%
3/ 8 — 3/14	21, 224	2	0	0
		0. 009%	0. 0%	0. 0%
3/15 — 3/24	14, 732	2	1	0
		0. 01%	0. 007%	0. 0%
合計	22, 822, 489	2 4 0 8	4 0 9	1 3 1
	H22. 3. 23 現在	0. 01%	0. 002%	0. 0006%

※ 平成 22 年 3 月 24 日報告分まで

※ 今回の接種事業では、疑いの如何にかかわらず、「接種後の死亡、臨床症状の重篤なもの、後遺症を残す可能性のあるもの」に該当すると判断されるものは報告対象としている。

(注意点) 実際の接種者数は表の推定接種者数を下回る見込み。

※ 10mL バイアルを 18 人に接種し、1mL バイアルを 2 人に接種したと仮定した場合の推定接種者数である。

※ 納入分が、全て接種されたとは限らないため、推定接種者数は最大数である。

※ 医療機関から報告される正確な接種者数については 1 ヶ月毎に集計し公表の予定

② ①のうち医療機関から「関連有り」として報告されたもの (単位：例 (人))

接種日※	推定接種者数 (回分)	副反応報告数 (報告頻度)	うち重篤報告数	
			(報告頻度)	死亡報告数 (報告頻度)
10/19—10/25	864, 862	2 1 3	1 8	0
		0. 02%	0. 002%	0. 0%
10/26—11/1	711, 088	2 2 6	2 1	0
		0. 03%	0. 003%	0. 0%
11/2—11/8	523, 196	1 3 1	1 5	0
		0. 03%	0. 003%	0. 0%

11/9—11/15	2, 502, 707	7 2	7	0
		0. 003%	0. 0003%	0. 0%
11/16—11/29	1, 416, 579	2 3 0	3 5	1
		0. 02%	0. 002%	0. 00007%
11/30—12/ 6	3, 304, 098	6 6	1 1	0
		0. 002%	0. 0003%	0. 0%
12/ 7—12/ 13	880, 028	8 4	1 2	0
		0. 01%	0. 001%	0. 0%
12/ 14—12/ 20	4, 716, 269	5 4	7	0
		0. 001%	0. 0001%	0. 0%
12/ 21— 12/ 27	1, 552, 976	4 3	5	0
		0. 003%	0. 0003%	0. 0%
12/ 28— 1/10	2, 267, 410	3 5	7	0
		0. 002%	0. 0003%	0. 0%
1/11— 1/17	725, 860	2 3	6	0
		0. 003%	0. 0008%	0. 0%
1/18— 1/24	897, 810	3 1	4	0
		0. 003%	0. 0004%	0. 0%
1/25— 1/31	1, 094, 749	2 4	5	1
		0. 002%	0. 0005%	0. 00009%
2/ 1— 2/ 7	609, 118	1 8	4	1
		0. 003%	0. 001%	0. 0002%
2/ 8— 2/18	389, 509	1 4	1	0
		0. 004%	0. 0003%	0. 0%
2/ 15— 2/21	274, 772	7	0	0
		0. 003%	0. 0%	0. 0%
2/ 22— 2/28	4, 155	2	0	0
		0. 05%	0. 0%	0. 0%
3/ 1— 3/ 7	51, 347	4	0	0
		0. 008%	0. 0%	0. 0%
3/ 8 — 3/14	21, 224	0	0	0
		0. 0%	0. 0%	0. 0%
3/15 — 3/24	14, 732	2	1	0
		0. 01%	0. 007%	0. 0%
合計	22, 822, 489	1 2 8 3	1 5 9	3

	H22. 3. 23 現在	0. 006%	0. 0007%	0. 00001%
--	---------------	---------	----------	-----------

③ ①のうち医療機関から「関連無し」「評価不能」として報告されたもの

(単位：例 (人))

接種日※	推 定 接 種 者 数 (回分)	副反応報告数 (報告頻度)	うち重篤報告数	
			(報告頻度)	死亡報告数 (報告頻度)
10/19—10/25	864, 862	1 0 9	7	1
		0. 01%	0. 0008%	0. 0001%
10/26—11/1	711, 088	153	6	0
		0. 02%	0. 0008%	0. 0%
11/2—11/8	523, 196	7 9	9	3
		0. 02%	0. 002%	0. 0006%
11/9—11/15	2, 502, 707	7 8	1 6	1 1
		0. 003%	0. 0006%	0. 0004%
11/16—11/29	1, 416, 579	2 6 8	9 3	5 9
		0. 02%	0. 007%	0. 004%
11/30—12/ 6	3, 304, 098	8 1	2 8	1 4
		0. 002%	0. 0008%	0. 0004%
12/ 7—12/ 13	880, 028	9 3	2 8	1 3
		0. 01%	0. 003%	0. 001%
12/ 14—12/ 20	4, 716, 269	6 4	1 4	7
		0. 001%	0. 0003%	0. 0001%
12/ 21— 12/ 27	1, 552, 976	4 7	1 5	9
		0. 003%	0. 001%	0. 0006%
12/ 28— 1/10	2, 267, 410	3 3	7	3
		0. 001%	0. 0003%	0. 0001%
1/11— 1/17	725, 860	2 1	4	1
		0. 003%	0. 0006%	0. 0001%
1/18— 1/24	897, 810	2 0	4	1
		0. 002%	0. 0004%	0. 0001%
1/25— 1/31	1, 094, 749	2 9	5	1
		0. 003%	0. 0005%	0. 00009%
2/ 1— 2/ 7	609, 118	2 4	6	2
		0. 004%	0. 001%	0. 0003%

2/ 8－ 2/18	389, 509	1 3	5	1
		0. 003%	0. 001%	0. 0003%
2/ 15－ 2/21	274, 772	4	1	1
		0. 001%	0. 0004%	0. 0004%
2/ 22－ 2/28	4, 155	6	2	1
		0. 1%	0. 05%	0. 02%
3/ 1－ 3/ 7	51, 347	1	0	0
		0. 002%	0. 0%	0. 0%
3/ 8 － 3/14	21, 224	2	0	0
		0. 009%	0. 0%	0. 0%
3/15 － 3/24	14, 732	0	0	0
		0. 0%	0. 0%	0. 0%
合計	22, 822, 489 H22. 3. 23 現在	1 1 2 5	2 5 0	1 2 8
		0. 005%	0. 001%	0. 0006%

④ 輸入ワクチンに係る副反応報告

1) 乳濁 A 型インフルエンザ HA ワクチン (H1N1 株)

(単位 : 例 (人))

接種日※	推 定 接 種 者 数 (回分)	副反応報告数 (報告頻度)	うち重篤報告数	
			(報告頻度)	死亡報告数 (報告頻度)
2/ 8－ 2/14	450	0	0	0
		0. 0%	0. 0%	0. 0%
2/ 15－ 2/21	0	0	0	0
		0. 0%	0. 0%	0. 0%
2/ 22－ 2/28	50	0	0	0
		0. 0%	0. 0%	0. 0%
3/ 1－ 3/ 7	50	0	0	0
		0. 0%	0. 0%	0. 0%
3/ 8 － 3/14	0	0	0	0
		0. 0%	0. 0%	0. 0%
3/15 － 3/24	300	0	0	0
		0. 0%	0. 0%	0. 0%
合計	850 H22. 3. 23 現在	0	0	0
		0. 0%	0. 0%	0. 0%

2) 乳濁細胞培養 A 型インフルエンザ HA ワクチン(H1N1 株)

(単位：例 (人))

接種日※	推定接種者数 (回分)	副反応報告数 (報告頻度)	うち重篤報告数	
			(報告頻度)	死亡報告数 (報告頻度)
2/ 8－ 2/14	1,360	2	0	0
		0.15%	0.0%	0.0%
2/ 15－ 2/21	476	1	0	0
		0.2%	0.0%	0.0%
2/ 22－ 2/28	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%
3/ 1－ 3/ 7	102	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%
3/ 8－ 3/14	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%
3/15－ 3/24	289	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%
合計	2,227 H22. 3. 23 現在	3	0	0
		0.13%	0.0%	0.0%

(注意点) 実際の接種者数は表の推定接種者数を下回る見込み。

※ 乳濁 A 型インフルエンザ HA ワクチン (H1N1 株) は抗原製剤・専用混和液それぞれ 1 バイアル (2.5ml) を混合し 10 人に、乳濁細胞培養 A 型インフルエンザ HA ワクチン(H1N1 株) は 1 バイアル (6mL) を 17 人に接種したと仮定した場合の推定接種者数である。

※ 納入分が、全て接種されたとは限らないため、推定接種者数は最大数である。

※ 医療機関から報告される正確な接種者数については 1 ヶ月毎に集計し公表の予定

⑤ 新型インフルエンザワクチンの医療機関からの副反応報告及び医療機関接種者数から推定される推定接種者数に基づく報告頻度

実施要領に基づき、平成22年1月末までの接種者の数について、受託医療機関から都道府県を経由して回答があった（10月分 46 都道府県：826,114 接種、11月分 45 都道府県：3,264,182 接種 12月分 41 都道府県：6,987,763 接種 1月分 44 道府県：6,038,137 接種 2月分 8 道府県：299,116 接種）。これを基に平成21年10月～22年2月の副反応報告頻度を計算したものは次のとおりです。今後都道府県からの追加情報により、推定接種者数は更新されていく可能性があります。

i) 10月接種分

(単位：例(人))

報告期間	10月1日～31日接種分		全報告 (報告頻度)	重篤 (報告頻度)
接種者数		単位：万接種		
医療従事者	65歳未満の者	79.9	679 0.08%	46 0.006%
	65歳以上の者	3.9	20 0.05%	6(死亡1) 0.02%
	その他	0.4		
合計		84.2	701 0.08%	52(死亡1) 0.006%

※ 接種者数が全体の1%に満たない対象群はまとめて「その他」として扱っている。

※ 46 都道府県の報告数をもとに、平成20年10月1日現在総務省都道府県別推計人口（総人口）により推計

(101.9 % = 127,692 千人(全国) ÷ 125,298 千人(46 都道府県))

※ 報告のあった都道府県においても、すべての受託医療機関からは報告を受けていない

i i) 11月接種分

(単位：例(人))

報告期間	11月1日～30日接種分	全報告 (報告頻度)	重篤 (報告頻度)
推定接種者数	単位:万接種		
医療従事者 65歳未満の者	75.1	353 0.05%	18 0.002%
基礎疾患を 有する者	1歳～小学校3年生	34.9 55 0.02%	9 (うち死亡 1) 0.003%
	小学校4年生～6年生	5.3 15 0.03%	2 0.004%
	中学生及び高校生の 年齢該当者	4.2 20 0.05%	2 0.005%
	高校卒業以上相当～ 65歳未満の者	49.2 121 0.02%	47 (うち死亡 8) 0.01%
	65歳以上の者	103.6 224 0.02%	96 (うち死亡 65) 0.009%
	計	197.2 435 0.02%	156 0.008%
妊婦	19.2	23 0.01%	3 0.002%
1歳～小学校3年生	35.7	93 0.03%	5 0.001%
その他	4.4		
合計	331.6	882 0.03%	179 (うち死亡 74) 0.005%

- 1) 接種者数が全体の1%に満たない対象群はまとめて「その他」として扱っている。
- 2) 65歳以上の医療従事者、小学校4年生～6年生及び中学生及び高校生の年齢該当者の各群は、基礎疾患を有する者として取りまとめて計算している。
- 3) 高校卒業以上相当～65歳未満の者のうち、基礎疾患を有しない者については、医療従事者として取りまとめて計算している。
- 4) 妊婦については、他の群に含まれている症例と重複して計算している。

※ 45 都道府県の報告数をもとに、平成 20 年 10 月 1 日現在総務省都道府県別推計人口（総人口）により推計

(101.6% = 127,692 千人（全国） ÷ 125,682 千人（45 都道府県）)

※ 報告のあった都道府県においても、すべての受託医療機関からは報告を受けていない

iii) 12 月接種分

(単位: 例 (人))

報告期間	12 月 1 日～31 日接種分		全報告 (報告頻度)	重篤 (報告頻度)
推定接種者数		単位: 万接種		
医療従事者 及び 1 歳未満の 小児の保護者等	65 歳未満の者	25.2	80	3
		22.9	0.02%	0.001%
基礎疾患を有する者	1 歳～小学校 3 年生	43.5	47 0.01%	14 0.003%
	小学校 4 年生～6 年生	8.3	5 0.006%	1 0.001%
	中学生及び高校生の年齢該当者	6.0	4 0.007%	0 0.000%
	高校卒業以上相当～65 歳未満の者	88.7	61 0.007%	21 (うち死亡 5) 0.002%
	65 歳以上の者	214.0	145 0.007%	70 (うち死亡 40) 0.003%
	計	360.5	262 0.007%	106 0.003%
妊婦		17.0	13 0.008%	3 0.002%
1 歳～小学校 3 年生		286.7	170 0.006%	11 0.0004%
小学校 4 年生～6 年生		18.8	6 0.003%	0 0.000%
中学生及び高校生の年齢該当者		13.9	6 0.004%	0 0.000%
その他		6.9		
合計		751.9	526 0.007%	120 (うち死亡 45) 0.002%

- 1) 接種者数が全体の 1 %に満たない対象群はまとめて「その他」として扱っている。
- 2) 65歳以上の医療従事者の群は、基礎疾患を有する者として取りまとめて計算している。
- 3) 高校卒業以上相当～65 歳未満の者のうち、基礎疾患を有しない者については、医療従事者として取りまとめて計算している。
- 4) 妊婦については、他の群に含まれている症例と重複して計算している。

※ 41 都道府県の報告数をもとに、平成 20 年 10 月 1 日現在総務省都道府県別推計人口(総人口)により推計

(110.1%＝127,692 千人(全国)÷118,620 千人(41 道府県))

※ 報告のあった都道府県においても、すべての受託医療機関からは報告を受けていない。

iv) 1 月接種分

(単位：例(人))

報告期間	1 月 1 日～ 3 1 日接種分	全報告 (報告頻度)	重篤 (報告頻度)
推定接種者数	単位：万接種		
医療従事者 1歳未満の小児の 保護者、優先接種 以外	65 歳未満の者	13.4 15.2 60.2	45 0.005% 0.0004%
基礎疾患を有する 者	1歳～小学校3年 生	8.9	3 0.002%
	高校卒業以上相当 ～65 歳未満の者	31.7	9 0.003%
	65 歳以上の者	83.3	36 0.004%
	計	123.9	48 0.004%
妊婦		5	1 0.002%
1歳～小学校3年生		158.5	36 0.002%
小学校4年生～6年生		33.0	6 0.002%
中学生及び高校生の年齢該当者		46.3	17 0.004%

65歳以上の者	158.1	45 0.003%	6 0.0003%
その他	1.5		
合計	621.9	198 0.003%	38 (うち死亡 5) 0.0006%

- 1) 接種者数が全体の1%に満たない対象群はまとめて「その他」として扱っている。
- 2) 65歳以上の医療従事者の群は、65歳以上の者として取りまとめて計算している。
- 3) 小学校4年生から高校生までの基礎疾患を有する者の群は、基礎疾患を有しない群で対応する年齢層で取りまとめて計算している。
- 4) 妊婦については、他の群に含まれている症例と重複して計算している。

※ 44 都道府県の報告数をもとに、平成 20 年 10 月 1 日現在総務省都道府県別推計人口(総人口)により推計

(103.0% = 127,692 千人(全国) ÷ 123,993 千人(44 都道府県))

※ 報告のあった都道府県においても、すべての受託医療機関からは報告を受けていない。

v) 2 月接種分

(単位：例 (人))

報告期間	2 月 1 日～2 8 日接種分		全報告 (報告頻度)	重篤 (報告頻度)
推定接種者数		単位：万接種		
医療従事者 1歳未満の小児の 保護者、優先接種 以外	65 歳未満の者	8.5 1.4 85.4	28 0.003%	1 0.0001%
	基礎疾患を有する者	高校卒業以上相当 ～65 歳未満の者	9 0.015%	2 (うち死亡 1) 0.0034%
		65 歳以上の者	24 0.017%	13 (うち死亡 4) 0.009%
	計	20.4	33 0.016%	15 0.007%
妊婦		1.5	0 0.000%	0 0.000%
1 歳～小学校 3 年生		21.1	6 0.003%	1 (うち死亡 1) 0.0005%
小学校 4 年生～6 年生		6.2	2	0

		0.003%	0.000%
中学生及び高校生の年齢該当者	12.3	4 0.003%	1 0.0008%
65歳以上の者	73.4	19 0.003%	1 0.0001%
その他	2.8		
合計	233.0	92 0.004%	19 (死亡 6) 0.0008%

- 1) 接種者数が全体の1%に満たない対象群はまとめて「その他」として扱っている。
- 2) 65歳以上の医療従事者の群は、65歳以上の者として取りまとめて計算している。
- 3) 1歳から高校生までの基礎疾患を有する者の群は、基礎疾患を有しない群で対応する年齢層で取りまとめて計算している。
- 4) 妊婦については、他の群に含まれている症例と重複して計算している。

※ 8県の報告数をもとに、平成20年10月1日現在総務省都道府県別推計人口(総人口)により推計

$$(779.1\% = 127,692 \text{ 千人(全国)} \div 16,389 \text{ 千人(8道府県)})$$

※ 報告のあった都道府県においても、すべての受託医療機関からは報告を受けていない。

v) 10月～2月接種分合計

(単位：例(人))

報告期間	1 0 月 1 日～ 2 月 2 8 日接種分		全報告 (報告頻度)	重篤 (報告頻度)
推定接種者数		単位: 万接種		
医療従事者 1歳未満の小児 の保護者、 優先以外の者等	65 歳未満の者	202.2 41.9 145.7	1081 0.03 %	57 0.001 %
医療従事者 及びその他の65 歳以上の者等	65 歳以上の者	10.1 237.2	151 0.009 %	11 0.0006 %
基礎疾患を有する者	1歳～小学校3年生	88.3	104 0.01 %	24 (死亡 1) 0.003 %
	小学校4年生～6年生	15.9	17 0.01 %	3 0.002 %
	中学生及び高校生の 年齢該当者	11.9	19 0.02 %	2 0.002 %
	高校卒業以上相当～ 65 歳未満の者	175.7	262 0.01 %	81 (死亡 14) 0.005 %
	65 歳以上の者	415.6	318 0.008 %	178 (死亡 114) 0.004 %
	計	707.4	720 0.01 %	288 0.004 %
妊婦		426.2	37 0.0009 %	6 0.0001 %
1歳～小学校3年生		502.0	299 0.006 %	27 (死亡 2) 0.0005 %
小学校4年生～6年生		58.3	16 0.003 %	0 0.000
中学生及び高校生の年齢該当者		72.8	28 0.004 %	3 0.0004 %
その他		2.6		
合計		2,022.70	2301 0.01 %	386 (死亡 131) 0.002 %

⑥ 報告の背景（国産ワクチン及び輸入ワクチンの合計）

男	7 6 3 (31.6%)	
女	1 6 4 2 (68.1%)	うち妊婦 37
不明	6 (0.2%)	

⑦ 年齢別報告件数（国産ワクチン及び輸入ワクチンの合計）

接種日 ※	10歳 未満	10歳 代	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 代	70歳 代	80歳 以上	不明	合計
10/19－ 10/25	0	1	58	94	90	53	19	2	3	2	322
10/26－ 11/1	0	2	80	123	98	55	17	3	1		379
11/2－ 11/8	3	5	41	72	40	30	10	3	5	1	210
11/9－ 11/15	20	4	24	30	25	20	9	10	8	0	150
11/16－ 11/29	115	28	35	44	34	37	53	89	63	0	498
11/30－ 12/6	60	3	10	7	7	11	11	23	14	1	147
12/7－ 12/13	86	4	8	7	6	10	16	20	19	1	177
12/14－ 12/20	52	6	5	7	4	7	10	17	10	0	118
12/21－ 12/27	25	7	5	8	8	7	8	10	12	0	90
12/28－ 1/10	19	14	4	6	1	4	5	9	6	0	68
1/11－ 1/17	13	5	3	5	2	1	1	12	2	0	44
1/18－ 1/24	9	4	2	4	4	3	5	11	8	1	51
1/25－ 1/31	2	4	0	7	5	1	12	10	12	0	53

2/1－ 2/7	3	4	5	3	3	3	7	6	8	0	42
2/8－ 2/14	1	3	3	4	3	2	4	7	4	0	31
2/15－ 2/21	2	0	1	2	0	2	2	2	3	0	14
2/22－ 2/28	0	1	2	0	1	0	1	2	1	0	8
3/ 1－ 3/ 7	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	5
3/ 8－ 3/14	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
3/15－ 3/24	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
合計	411	95	287	425	331	247	192	237	180	6	2411
	17.1%	3.9%	11.9%	17.6%	13.7%	10.3%	8.0%	9.8%	7.5%	0.2%	

(2) 死亡例(1 1月13日～3月24日報告分) (合計 131例(人))

前回の発表以降、新たな死亡症例は報告されていない。

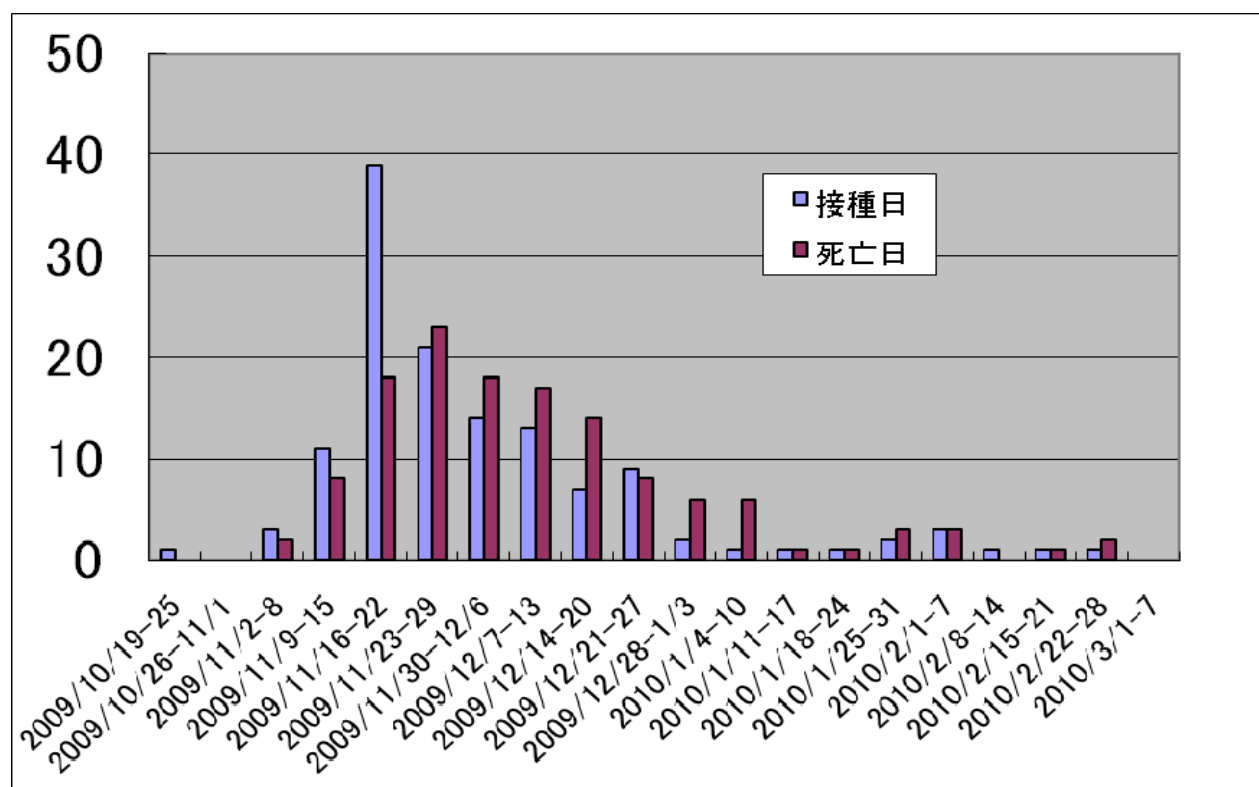
① 性別

性別	人数(割合)
男	82 (62.6%)
女	49 (37.4%)

② 年齢別

年齢	人数(割合)
0～9歳	3 (2.3%)
10～19歳	1 (0.8%)
20～29歳	0 (0.0%)
30～39歳	3 (2.3%)
40～49歳	1 (0.8%)
50～59歳	4 (3.1%)
60～69歳	15 (11.5%)
70～79歳	38 (29.0%)
80歳以上	66 (50.4%)

③ 接種日毎の死亡報告数



④ 死亡症例一覧

No.	年齢・性別	基礎疾患（持病）	経過・死亡原因	ロット	主治医評価
1	70代・男	肺気腫・慢性呼吸不全	接種2日後・呼吸不全により死亡。	化血研 SL02A	関連無し
2	80代・男	肺気腫・慢性呼吸不全	接種4日後・呼吸不全	微研会 HP01A	評価不能
3	70代・男	高血圧・心筋梗塞・糖尿病・低血糖性脳症・認知症	接種同日・心筋梗塞	微研会 HP01A	評価不能
4	80代・女	間質性肺炎・心不全・肺性心	接種翌日・間質性肺炎の増悪	デンカ S2-A	評価不能
5	80代・男	多発性脳梗塞で起坐不能、嚥下性肺炎で入院。貧血、白血球減少症。	接種12日後の呼吸停止。死亡二日前に季節性ワクチン接種	デンカ S2-B(新型) 北里研 FB015B (季節性)	評価不能

6	80代・男	肺気腫、胃がん、糖尿病、肺の繊維化	接種2日後から発熱、5日後に肺炎確認、19日後に間質性肺炎の増悪。	デンカ S2-A	評価不能
7	60代・男	肝硬変、肝細胞癌があり、破裂の危険を指摘、1ヶ月前より肝機能低下による脳症のため入院	接種2日後、腹痛、血圧低下、腹部膨満出現。腹水穿刺にて血性腹水認め、腹腔内出血（肝細胞癌破裂疑い）と診断。	化血研 SL02A	関連無し
8	70代・女	慢性腎不全（透析）、腎がん、転移性肺がん、高血圧、糖尿病、腎性貧血	接種3日後、心肺停止。	化血研 SL02A	評価不能
9	80代・男	慢性腎不全、心不全、消化管出血	接種翌日、血圧低下、意識障害、呼吸困難	化血研 SL04B	関連無し
10	70代・女	慢性閉塞性肺疾患、肺高血圧症、肺性心、腹圧性尿失禁、肝機能異常	接種2日後、心肺停止	デンカ S1-B	評価不能
11	80代・女	肺炎	接種後発熱、接種翌日呼吸停止	化血研 SL02A	評価不能
12	80代・女	慢性関節リウマチ、脳出血、認知障害、記憶障害	接種2日後、心停止、呼吸停止	微研会 HP02D	評価不能
13	90代・男	脳出血後遺症、胃ろう造設術、2年前より嚥下性肺炎	接種翌日、嘔吐、窒息	化血研 SL02A	評価不能
14	80代・男	肺がん（肺扁平上皮癌Ⅳ期）、上腕骨及び多発肺内転移	接種翌日、心拍数低下、呼吸停止	化血研 SL01A	評価不能
15	70代・女	末期慢性腎不全に対し血液透析、糖尿病、高血圧、総胆管結石	当日、急性心不全	化血研 SL04B	評価不能
16	80代・男	慢性腎不全により血液透析治療、糖尿病	接種2日後、虚血性心疾患	化血研 SL04A	関連無し
17	50代・男	糖尿病、高血圧、甲状腺機能亢進症	接種2日後、急性心不全	化血研 SL02A	関連無し
18	80代・男	髄膜炎	接種3日後、肺炎	化血研 SL02A	関連無し
19	80代・男	慢性気管支炎、脳血管性認知症、多発性脳梗塞	接種翌日、突然死	化血研 SL01A	評価不能

20	80代・男	糖尿病、高血圧	接種2日後、脳血管障害	化血研 SL04B	評価不能
21	90代・男	気管支炎喘息、認知症	接種当日、呼吸機能の急性増悪、死亡。	デンカ S1-B	評価不能
22	90代・男	間質性肺炎	接種翌日、間質性肺炎の増悪、死亡。	微研会 HP02C	評価不能
23	80代・女	気管支喘息、高血圧	接種当日、脳出血	微研会 HP02C	関連無し
24	70代・男	脳梗塞及び脳出血（後遺症）	接種4日後、血圧低下、呼吸困難、心停止	化血研 SL04B	関連無し
25	70代・男	糖尿病、慢性腎不全（透析）、狭心症、陳急性脳梗塞	接種3日後、心臓死	化血研 SL04B	関連無し
26	70代・男	糖尿病、食道癌放射線療法後、慢性心不全、甲状腺癌術後甲状腺機能低下	接種3日後、心筋梗塞	化血研 SL02B	関連無し
27	60代・女	慢性腎不全、心不全、脳出血（後遺症）	接種3日後、呼吸停止	化血研 SL02B	評価不能
28	90代・男	慢性気管支炎、低カリウム血症、心不全、大腸癌の手術歴	接種3日後、急性心臓死	化血研 SL04B	評価不能
29	60代・男	慢性腎臓病、糖尿病、血液維持透析、高血圧	接種2または3日後、突然死	化血研 SL03A	評価不能
30	90代・女	慢性うつ血性心不全、高血圧、慢性骨髄性白血病	接種4または5日後、脳出血	デンカ S2-B	関連無し
31	80代・男	じん肺、慢性呼吸不全	接種5日後昼まで異常なく、午後喘息様症状・呼吸状態悪化。6日後夕方死亡。	化血研 SL02B	評価不能
32	70代・男	脳梗塞、気管支喘息	接種翌日より発熱、酸素飽和度低下、敗血症疑い。死亡	化血研 SL03A	評価不能
33	80代・男	多発性脳梗塞、前立腺肥大症、高脂血症、肺炎、尿路感染症、認知症、骨結核、小児カリエス	接種翌日に急性心不全により死亡。	化血研 SL04B	評価不能

34	70代・男	特発性拡張型心筋症、好酸球性肺臓炎既往、低左心機能状態、脳梗塞、血液透析中	透析に続き接種。2時間後胸苦、意識消失し、心室頻脈により、死亡。	化血研 SL03B	関連無し
35	90代・男	心不全、低血圧、認知症、虚血性心疾患	接種翌日に心肺停止。	デンカ S1-A	評価不能
36	60代・男	胃癌（胃全摘）、食欲不振、低蛋白症にて入院中、肺炎	接種5日後に発熱、呼吸困難。肺炎発症。接種10日後死亡。	化血研 SL02A	評価不能
37	60代・男	肺がん	接種翌日呼吸困難。接種2日後に気道閉塞による死亡。	化血研 SL01A	関連無し
38	80代・男	肺炎、リンパ腫（キャッスルマン病疑い）	接種翌日に全身状態の悪化、死亡。	微研会 HP02C	評価不能
39	80代・女	脳梗塞、肺炎、胃瘻造設	接種翌日微熱、2日後に心肺停止。	微研会 HP02D	評価不能
40	60代・男	糖尿病、慢性心不全、陳旧性心筋梗塞	接種3日後に心肺停止。2時間前まで問題なくトイレ。	化血研 SL04B	評価不能
41	70代・男	慢性心不全、不整脈、多発性脳梗塞、前立腺癌、高血圧	接種2日後に気分不良。突然倒れ、心肺停止。死亡	化血研 SL03A	関連無し
42	80代・男	肺気腫、気管支喘息	接種3日後に下血頻回、7日後貧血、入院。接種10日後に死亡。	微研会 HP02C	評価不能
43	30代・男	心筋梗塞（冠動脈狭窄（3枝病変））、梗塞後狭心症	接種2日後に倦怠感、頭痛。4日後に呼吸が早くなり、ショック、死亡。	化血研 SL02A	評価不能
44	60代・女	成人スティル病（免疫抑制剤使用）	接種17日後に突然の心肺停止。	化血研 SL02A	関連無し
45	70代・男	糖尿病、慢性心不全、糖尿病性腎症、慢性腎不全、鼻咽頭炎、閉塞性動脈硬化症、胃炎、便秘、透析通院	接種時、軽度感冒。接種翌日倦怠感、接種4日後朝死亡。	化血研 SL03B	評価不能
46	90代・男	慢性心不全、慢性閉塞性肺疾患、Ⅲ度房室ブロック、	接種前、胸水貯留、利尿剤。接種2日後に意識レ	デンカ S2-B	評価不能

		誤嚥性肺炎、慢性気管支炎	ベル低下し、心肺停止。		
47	70代・男	難治性気胸（両側）、慢性呼吸不全	接種6日後に発熱、インフルエンザ陽性、気胸の悪化。9日後に意識障害、呼吸不全により死亡。	化血研 SL02B	関連無し
48	50代・男	2型糖尿病インスリン使用、アルコール性肝硬変	接種6日後、風呂場で心肺停止。	微研会 HP02A	評価不能
49	70代・男	間質性肺炎、糖尿病、高血圧	接種翌日に微熱、接種7日後に発熱、呼吸困難。接種10日後呼吸不全で死亡。	化血研 SL04A	評価不能
50	70代・男	脳梗塞、腎障害、パーキンソン症候群、高血圧、嚥下性肺炎、胃瘻造設、透析	接種4日後発熱、5日後に発疹、血圧低下、接種10日後透析中にショック状態、11日後死亡。	化血研 SL04A	評価不能
51	80代・男	慢性腎不全、透析、胸部大動脈瘤	接種7日後に急性腸炎、8日後に死亡。	化血研 SL03A	評価不能
52	60代・女	B型肝炎、肝硬変、肝不全、肝癌、食道静脈瘤	接種3日後肝不全により5日後死亡。	微研会 HP02A	関連無し
53	60代・男	急性骨髄性白血病の再燃	接種2週間後頃発熱、偽膜性腸炎発生。接種15日後死亡。	化血研 SL02A	関連無し
54	80代・男	慢性間質性肺炎 不安定狭心症：ステント留置有り呼吸困難、ラクナ梗塞、脂質異常症、高血圧、肝障害	発熱、接種7日後間質性肺炎増悪。接種13日後死亡。	微研会 HP02D	評価不能
55	60代・女	卵巣癌、がん性腹膜炎	接種11日後全身けいれん、死亡	微研会 HP02D	関連無し
56	90代・女	脳出血、糖尿病、高血圧	接種翌日、心停止、呼吸停止	化血研 SL06B	評価不能
57	70代・男	慢性腎不全、心不全、両側胸水、脳梗塞、高血圧、胃癌、肺炎	接種翌日発熱、3日後重症肺炎、悪化し細菌性肺炎、DIC、13日後脳出血により、死亡	デンカ S1-A	評価不能
58	10代・男	自己免疫性溶血性貧血、小腸潰瘍、気管支喘息、低	接種4日後嘔吐、死亡	化血研 SL04B	評価不能

		身長症、気管支肺炎、赤芽球ろう			
59	70 代・男	狭心症、特発性肺線維症、非小細胞肺癌、間質性肺疾患	接種翌日呼吸不全、2 日後特発性肺線維症増悪、接種 4 日後特発性肺線維症と肺がんにより死亡	化血研 SL05A	評価不能
60	70 代・女	関節リウマチ、慢性呼吸不全、気管支拡張症、心筋梗塞、酸素補充	接種 3 日後発汗著明。4 日後死亡。	化血研 SL04A	評価不能
61	60 代・男	肝細胞癌、多発性肺転移、癌性胸膜炎、多量胸水貯留、胸壁転移、B 型肝炎、喘息（公害認定）	呼吸不全のため接種 3 日後入院、7 日後死亡	化血研 SL04B	評価不能
62	90 代・女	心房細動による慢性心不全、慢性腎不全、逆流性食道炎、高脂血症、褥瘡性潰瘍、神経因性膀胱、パーキンソニズム、うつ病、嚥下性肺炎	接種 3 日後呼吸不全、急性腎不全、4 日後死亡	化血研 SL04A	評価不能
63	70 代・女	肝がん、肝硬変	接種翌日より発熱、接種 3 日後多臓器不全、死亡	化血研 SL02A	評価不能
64	70 代・男	糖尿病、慢性腎不全、高血圧、肺結核既往、肺炎既往、肺気腫、大腸癌術後	接種翌日疾患増悪、接種 4 日後肺炎増悪、接種 20 日後死亡	化血研 SL02B	評価不能
65	10 歳未満・男	熱性けいれん (新型インフルエンザ死亡報告例)	接種 4 日後脳出血による心肺停止、6 日後死亡、死後新型インフルエンザ感染確認	微研会 HP02C	関連無し
66	70 代・男	慢性閉塞性肺疾患、慢性心不全、喘息、非定型マイコバクテリア感染	接種当日意識障害、呼吸不全、16 日後死亡	デンカ S3	評価不能
67	80 代・男	慢性肺気腫、胃癌（胃切除）、胆石（胆嚢摘出）の既往あり、右肺結核、左気胸により左胸腔補助下肺部分切除術、嚥下性肺炎	接種 4 日後低酸素血症、死亡	微研会 HP01A	関連無し

68	80代・男	間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患、肺結核、高血圧、糖尿病、甲状腺機能低下	接種2日後発熱、7日後間質性肺炎の増悪、12日後死亡	デンカ S2-B	評価不能
69	90代・女	慢性心不全、大動脈弁狭窄症、慢性腎臓病、高血圧、糖尿病	接種4日後心肺停止、死亡	微研会 HP04A	評価不能
70	70代・男	心筋梗塞、糖尿病、心房細動	接種翌日死亡	微研会 HP04D	関連無し
71	80代・男	前立腺癌、高血圧、認知症、骨粗鬆症、両下肢閉塞性動脈硬化症、腰部脊柱管狭窄症	接種5日後死亡（主治医が死亡広告により知る）	微研会 HP04C	評価不能
72	70代・女	大動脈弁置換術後、僧帽弁置換術後、持続性心室頻拍、CRT-D植え込み後、慢性心房細動、高ガンマグロブリン血症、甲状腺機能亢進症、譫妄、貧血	接種後問題なく、5日後突然意識がなくなり、呼吸停止、死亡。	化血研 SL03A	評価不能
73	70代・男	進行性核上性麻痺、中心静脈栄養、胸郭手術、前立腺癌	接種当日、嘔吐、酸素飽和度低下、嘔吐物誤嚥による喀痰吸引、死亡	デンカ S3	評価不能
74	80代・女	胸部大動脈瘤、大動脈解離、高血圧、糖尿病、高脂血症、変形性腰椎症	接種当日胸部大動脈破裂出血性ショック、翌日死亡	化血研 SL05A	関連無し
75	90代・男	神経性膀胱にて導尿（バルーン留置）、感染、脳梗塞	接種後夕方酸素飽和低下、翌朝心肺停止で死亡。解剖により、死因は両側性肺炎。	微研会 HP04A	関連無し
76	80代・女	高血圧症、慢性心不全、高コレステロール血症、慢性胃炎	接種後異常なく、3日後朝呼吸停止で死亡。死因は心不全	微研会 HP02D	関連無し
77	60代・女	大動脈弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症、慢性心不全	接種4日後突然呼吸困難、チアノーゼ、慢性心不全の急性増悪により死亡	微研会 HP03A	評価不能
78	80代・男	糖尿病、間質性肺炎、帯状疱疹	接種翌日発熱、接種2日後解熱、落ち着いたが、6	微研会 HP03C	評価不能

			日後急に呼吸不全、間質性肺炎による死亡		
79	80代・男	慢性腎不全、血液透析、肝細胞癌、認知症	接種 2 日後けいれん発生（抗精神薬の副作用を疑い、治療）、その後、呼吸微弱、死亡	化血研 SL02B	関連無し
80	50代・男	糖尿病、高血圧症（コントロール不良）、小児喘息既往、高尿酸血症	接種 5 日後、意識消失、心室細動、心筋梗塞による心臓突然死	微研会 HP04A	評価不能
81	70代・男	慢性腎不全、血液透析、脳梗塞後遺症、経管栄養	接種 6 日後発熱、チアノーゼ、細菌性肺炎の診断で抗菌剤治療。接種 11 日後死亡	化血研 SL04B	関連無し
82	80代・女	心房細動、大動脈弁狭窄症、慢性うっ血性心不全、糖尿病、骨粗鬆症、心筋虚血、高血圧	接種翌日夕方まで副反応なく、その後心肺停止。急性心筋梗塞の疑い。	微研会 HP04C	評価不能
83	80代・男	高血圧、慢性呼吸不全	接種翌日朝転倒し体動困難、呼吸状態悪化。大腿骨頸部骨折、肺炎併発だが軽快。6 日後呼吸不全増悪で死亡。	化血研 SL06A	関連無し
84	70代・女	進行乳癌、癌性悪液質	接種 6 日後意識障害出現、9 日後髄膜炎と診断。接種 17 日後死亡	化血研 SL02A	評価不能
85	80代・男	狭心症、脳梗塞、高血圧、気管支喘息、高脂血症	接種 3 日後発熱、接種 12 日後両側上肺野に肺炎、20 日後肺炎が進展し、死亡。	化血研 SL04A	評価不能
86	60代・男	糖尿病（1 型）、狭心症、心房中隔欠損、慢性腎不全、肺気腫、間質性肺炎（特発性肺線維症）	接種 4 ～ 5 日後感冒症状、7 日後特発性肺線維症急性増悪、ステロイド治療。接種 27 日後死亡	化血研 SL03A	関連無し
87	70代・男	糖尿病、サルコイドーシス	接種後異常なく、接種 5 日後心肺停止。急性心不全、不整脈の疑いによる	微研会 HP02B	関連無し

			死亡。		
88	60代・女	血管炎症候群、糖尿病	接種翌日朝呼吸停止。解剖施行、死因不明。	化血研 SL02A	評価不能
89	80代・男	胸部大動脈瘤、肺線維症	接種 12 日後死亡	化血研 SL02A	評価不能
90	80代・男	虚血性心疾患、腹部対動脈瘤の術後、急性心筋梗塞、狭心症、心房細動	接種翌日心肺停止。	化血研 SL06B	評価不能
91	30代・女	子宮頸がんⅢb期	接種 16 日後肝機能障害（高アンモニア血症）	化血研 SL02A	評価不能
92	70代・女	高血圧症、糖尿病、気管支喘息	接種 3 日後虚血性心疾患によると疑われる死亡	化血研 SL06B	関連無し
93	70代・女	慢性関節リウマチ、アミロイドーシス、帽弁閉鎖不全、心筋梗塞既往ありステント留置	接種後変化なし、接種 11 日後全胸部痛、心肺停止	化血研 SL04B	関連無し
94	90代・女	慢性閉塞性肺疾患、在宅酸素療法施行中、慢性心不全	接種翌日心不全悪化による肺うっ血によると思われる呼吸不全、10 日後心不全、胸水、13 日後衰弱死	デンカ S2-B	評価不能
95	40代・女	心不全、高血圧、肝機能異常	接種翌日食欲不振、4 日後高血糖、不整脈	化血研 SL03B	評価不能
96	60代・男	脳挫傷後遺症	接種 9 日後上室性頻脈、10 日後、不整脈、肝障害、死亡	微研会 HP04B	評価不能
97	70代・男	肺がん、肺気腫、糖尿病、胃がん、慢性腎不全、総胆管結石術後、胃潰瘍・胆摘・イレウス手術歴、左腎摘、胆管ステント留置、深部静脈血栓症、慢性閉塞性肺疾患	接種 28 日後、腎不全の悪化、呼吸不全の進行により死亡	化血研 SL02A	関連無し
98	90代・女	経管栄養、心不全、（誤嚥性）肺炎、脳梗塞・左片麻痺、人工肛門	接種当日心配停止により救急搬送され、死亡。誤嚥性肺炎、心不全。	化血研 SL07A	評価不能

99	80代・男	慢性腎不全にて血液透析、 発熱、肺炎治療中、高血圧、 糖尿病	接種31日後、肺炎の改善 なく死亡	化血研 SL02A	評価不能
100	90代・女	特発性血小板減少性紫斑 病、気管支拡張症	接種3日後血小板減少 症、4日後に血小板減少 が原因のくも膜下出血に より死亡。	化血研 SL05A	評価不能
101	80代・男	高血圧	接種3時間後まで普段と 変わらず、4時間半後、 当日意識消失、心肺停止。 心筋梗塞疑いによる死 亡。	化血研 SL09B	評価不能
102	30代・男	頭蓋咽頭腫、てんかん	接種翌日てんかん発作、 12日後多呼吸、13日後肺 炎、14日後死亡	化血研 SL04A	評価不能
103	80代・男	肝がん、食道がん、放射線 肺炎、オスラー病、動脈硬 化	接種後問題なく、2日後、 呼吸苦、意識不明。急性 呼吸不全により死亡。	化血研 SL05B	評価不能
104	80代・男	肺がん	接種当日発熱、倦怠感、2 日後軽快、6日後再度発 熱、10日後定期検診にて 異常なし、15日後死亡	化血研 SL03A	関連無し
105	70代・男	脳梗塞、慢性硬膜下血腫、 膀胱ろう造設、敗血症	接種翌日に38.9℃の熱2 日間。いったん解熱。接 種7日後37℃台、接種10 日後血圧低下、11日後死 亡	化血研 SL05A	評価不能
106	80代・女	脳出血後左片麻痺、慢性気 管支炎（気管切開）、嚥下 機能低下、高血圧症、高脂 血症	接種後体調変化等の訴え はなかったが、翌日午前 四時頃心肺停止にて発見	微研会 HP05D	評価不能
107	70代・男	間質性肺炎（プレドニゾロ ン投与中）、糖尿病、高血 圧、心房細動	接種翌日より呼吸困難、3 日後より入院、胸部CT より間質性肺炎の急性増 悪と判断。4日後死亡	化血研 SL07B	評価不能
108	80代・男	頸椎症性脊髄症（不全四肢	接種後異常なく過ごして	微研会	関連無し

		麻痺と拘縮)、胃癌手術後	いたが、4 日後、居室で意識消失状態で発見され、死亡確認。老衰	HP05C	
109	80 代・女	糖尿病、狭心症	接種翌日より倦怠感、酸素吸入開始、2 日後努力様呼吸となり入院、4 日死亡	微研会 HP03D	評価不能
110	80 代・女	慢性心不全、脳梗塞後遺症	接種 9 日後より心不全悪化し入院、12 日後死亡	化血研 調査中	評価不能
111	70 代・女	慢性 C 型肝炎、肝細胞癌、肺線維症、間質性肺疾患、肝硬変、輸血、高周波アブレーション	接種当日発熱、呼吸悪化、2 日後低酸素血症で入院、10 日後死亡	化血研 SL03B	評価不能
112	10 歳未満・女	特になし	接種 4 日後うつぶせの状態で死亡、S I D S 疑い	北里研 NB002B	評価不能
113	70 代・男	間質性肺炎合併の小細胞肺がん	ワクチン接種 2 日後発熱、呼吸困難、7 日後入院、間質性肺炎の急性増悪、22 日後死亡	微研会 HP05D	関連無し
114	70 代・男	肺アスペルギルス症、発熱	接種後食欲不振、接種 18 日後意識消失にて救急搬送、低酸素症、23 日後死亡	微研会 HP04C	評価不能
115	80 代・女	2 型糖尿病、本態性高血圧、非対称性中隔肥厚（心室肥大）、高コレステロール血症、てんかん、心室肥大	接種翌日意識消失、心肺停止にて搬送、急性心不全にて死亡	デンカ S5-A	関連無し
116	80 代・女	高血圧、連合弁膜症、脊椎後湾症	接種 30 分後に副反応の発生がないことを確認し、帰宅。その 10 分後に急性循環不全、呼吸不全発生、心肺蘇生を行うも死亡	デンカ S5-A	関連有り
117	80 代・男	肺炎、高血圧、狭心症、心不全、パーキンソン病、一過性多発性脳梗塞	接種 2 日後、肺陰影の悪化を認め入院。7 日後両肺に陰影が拡大し、人工呼吸管理、13 日後多臓器不全、16 日後死亡	微研会 HP03C	評価不能

118	80代・女	嚥下性肺炎、誤嚥性肺炎	接種 2 日後心肺停止、呼吸停止	化血研 SL05A	評価不能
119	50代・男	ネフローゼ症候群、知的障害者、右下肢蜂窩織炎、喘息、痛風、鉄欠乏性貧血	接種翌日に心停止により救急搬送、脳出血及び全肺野にびまん性浸潤が認められる。2 日後、脳出血により死亡。	北里研 NB0003B	評価不能
120	10 歳未満・女	脳性麻痺（重度痙性四肢麻痺）、中枢性および閉塞性の慢性呼吸障害、てんかん、重度心身障害（大島分類 1 度）	接種翌日異変はなかったが、呼吸停止で発見された	微研会 HP04B	評価不能
121	80代・女	うっ血性心不全、狭心症、洞性不整脈、低血圧	接種翌日肺炎、胸水、5 日後発熱、12 日後死亡	化血研 SL08A	関連無し
122	70代・女	糖尿病、胃癌（術後）、糖尿病腎症、高血圧、腎機能障害	接種 4 日後異変はなかったが、呼吸停止で発見された	化血研 SL02A	関連有り
123	90代・女	便秘症、認知症、貧血、心不全	接種翌日昼食中に心肺停止	微研会 HP03B	評価不能
124	70代・女	気管支喘息、高血圧、糖尿病	接種 13 日後、吐気・嘔吐、傾眠、血圧低下、肝機能異常、接種 14 日後死亡。	化血研 SL03A	評価不能
125	80代・男	食道癌、胃ポリープ、高血圧、前立腺肥大、腰痛・頸肩腕症候群	接種 4 時間後ぐったり、救急搬送、心不全で死亡。	微研会 HP07D	関連有り
126	70代・女	慢性腎不全（透析にて通院中）、糖尿病、子宮癌、胆石症	接種 10 日後腸閉塞、接種 50 日後に死亡	化血研 SL02A	評価不能
127	90代・女	誤嚥性肺炎、喘息で入院、抗生剤で治療し改善中、脳梗塞、心不全、閉塞性動脈硬化症、腰椎圧迫骨折	接種 6 時間後に意識レベル低下・血圧低下、ショック状態。誤嚥を繰り返し、接種 2 ヶ月 4 日後死亡。	化血研 SL02A	評価不能
128	90代・女	気管支喘息、慢性心不全、アテローム血栓性脳梗塞	接種 5 分程度後心肺停止	化血研 SS01C	評価不能

129	80代・男	特になし	接種3時間後後急性心筋梗塞。	微研会 HP04C	関連なし
130	80代・女	認知症、高血圧症、脳梗塞の既往。	接種後30分後咽頭浮腫、意識障害、喘鳴。接種翌日回復。接種13日後、心筋梗塞。	化血研 SL06A	関連なし
131	80代・男	脊髄損傷、気管切開、胃ろう造設、糖尿病、肝硬変、腸閉塞、閉塞性動脈硬化症、四肢麻痺、脳梗塞	接種翌日発熱、接種3日後呼吸悪化、肺炎、接種6日後死亡。	化血研 SL02A	評価不能

※ 平成21年3月5日公表時の報告分はNo.131まで

(3) 重篤例（前回公表以降 3月5日～3月24日報告分）

※ 前回公表以降に重篤度評価が変更されたものを含む。

※ 輸入ワクチンは該当なし

① 医療機関から「関連有り」として報告されたもの

	5例
ショック	1例
アナフィラキシー	1例
肝機能異常	1例
ギランバレー症候群	1例
39℃以上の発熱	1例

② 医療機関から「関連無し」又は「評価不能」として報告されたもの

	5例
四肢痛	1例
けいれん	1例
ギランバレー症候群	1例
ADEM	1例
気管支喘息、肺炎	1例

(4) 非重篤例（前回公表以降 3月5日～3月24日報告分）

21例（当該期間）／ 1999例（全期間）

① 医療機関から「関連有り」として報告されたもの

		12 例
アナフィラキシー	(1)	括弧内は 件数
アナフィラキシー反応	(1)	
悪心	(1)	
意識消失	(1)	
顔面のほてり	(1)	
顔面神経麻痺	(1)	
結節性紅斑	(1)	
倦怠感	(1)	
全身性蕁麻疹	(1)	
潮紅	(1)	
39.0 度以上の発熱	(1)	
不穏	(1)	
浮動性めまい	(1)	
腹痛	(1)	
冷感	(1)	
蕁麻疹	(1)	
舌のしびれ感	(1)	
中毒疹	(1)	

12 例（当該期間）／ 1124 例（全期間）

② 医療機関から「関連無し」、「評価不能」又は記載無しとして報告されたもの

		9 例
ワクチン接種部位不快感	(1)	括弧内は 件数
悪心	(1)	
頸部リンパ節腫脹	(1)	
上気道の炎症	(1)	
上腕痛	(1)	
39.0 度以上の発熱	(1)	
浮動性めまい	(1)	
喘息発作	(1)	
嘔吐	(1)	
痙攣	(1)	

9 例（当該期間）／ 875 例（全期間）

③ 輸入ワクチンについて

医療機関から「関連無し」、「評価不能」又は記載無しとして報告されたもの

	1例
発熱 (1)	括弧内は 件数

※輸入ワクチンについて、医療機関から「関連有り」として報告されたものはなかった。

(参考 1)

平成 22 年 3 月 5 日 (金) ~ 平成 22 年 3 月 24 日 (水) に報告された死亡症例の経過

「受託医療機関における新型インフルエンザ (A/H1N1) ワクチン接種実施要領」に基づき医療機関から厚生労働省宛に報告された副反応症例

- ※ 前回の発表以降、新たな死亡症例の報告はありません。症例 113 及び 129 は前回調査中の報告例です。
- ※ 各症例に関する因果関係に関する評価は、ワクチン接種事業やワクチン自体の安全性の評価のために、評価時点での限られた情報の中で評価が行われています。したがって、公表した因果関係評価は、被害救済において請求後に行われる個々の症例の詳細な因果関係評価の結果とは別のものです。

(症例 113)

1. 報告内容

(1) 事例

70 歳代の男性。間質性肺炎合併の小細胞肺癌の患者。

平成 21 年 11 月 19 日、近医にて新型インフルエンザワクチン接種。11 月 20 日、肺癌の治療評価目的で予約してあった CT 検査を施行。11 月 21 日、40℃の発熱、呼吸困難が出現。11 月 24 日、近医にてセフカペンピボキシル塩酸塩水和物、ロキソプロフェンナトリウム、ドンペリドンを処方され、低酸素血症に対して在宅酸素療法を導入された。11 月 26 日、SpO₂89% (酸素 3L/分)、胸部 X 線にて両肺野に濃度上昇を認め、緊急入院。プレドニゾロン、セフェピム塩酸塩を投与。11 月 27 日、CT 検査にて、11 月 20 日の CT と比べ、新たに両肺野広範囲に濃度上昇が出現。間質性肺炎の急性増悪と判断し、ステロイドパルス施行。自覚症状の改善あり、以後、ステロイドを漸減した。12 月 18 日 CT 検査にて異常陰影の改善を認め、間質性肺炎の急性増悪は軽快。しかし、肺癌、縦隔肺門リンパ節腫大は増悪し、飲食通過障害も出現した。進行が早く、半日毎に症状が増悪。平成 22 年 1 月 8 日、抗がん剤治療行うも、平成 22 年 1 月 10 日午前 3 時 18 分、肺癌増悪により死亡。化学療法による死亡でもなく、検死・剖検等は行われていない。

(2) 接種されたワクチンについて

デンカ生研 S2-A

(3) 接種時までの治療等の状況

高血圧症にて近医に通院中であった。他に肺線維症、高尿酸血症、前立腺肥大症があり、前立腺癌の疑いにて生検するも悪性の診断には至っていなかった。平成 21 年 3 月上旬より乾性咳嗽が出現し、CT にて右肺門部に腫瘤影が認められ、その後の精査にて限局型小細胞肺癌 (Stage III B) と診断。間質性

肺炎が合併していたが、化学療法（カルボプラチン、エトポシド）を開始し、4コース目まで病変の縮小が見られた。5コース目施行後、増大が見られたため、イリノテカンに変更し、ワクチン接種までに5回施行していた。

2. ワクチン接種との因果関係

経過より、ワクチン接種が引き金となり間質性肺炎の急性増悪を生じたと考えられるが、ステロイド投与により軽快しているため、その後の死亡は肺癌増悪によるものであり、ワクチンとの関連はないとしている。

（症例129）

1. 報告内容

(1) 事例

80歳代の男性。治療されている基礎疾患はなかった。

平成22年2月22日午前11時頃、インフルエンザワクチン接種。同日午後2時頃、眼科を受診したところ、ふらっと倒れたため、アドレナリンを投与し、医療機関に搬送された。入院経過観察が必要と判断され、予防接種を受けた医療機関に到着した。その直後に心肺停止となり救命措置を開始したが処置が困難なため、3次要請し救命救急センターに転院した。センター到着時には心肺停止状態であり、気管挿管し心肺蘇生をしながら補助循環装置を導入し、冠動脈造影検査を行ったところ、左冠動脈主幹部に99%の狭窄を認め、急性心筋梗塞と判明した。引き続きステント留置術を行い血流は再開したものの、翌2月23日午前8時37分死亡。病理解剖の結果、急性心筋梗塞と診断された。

(2) 接種されたワクチンについて

微研会 HP04C

(3) 接種時までの治療等の状況

搬送先の医療機関における病歴聴取によると、虚血性心疾患が疑われる胸部症状を認めたことがあったが、基礎疾患として精査・診断されていなかった。報告医の医療機関にはワクチン接種以外に受診されていない。

2. ワクチン接種との因果関係

搬送先の医療機関の担当医師は、虚血性心疾患が基礎疾患として存在していたことが考えられ、急性心筋梗塞の発症は自然経過である可能性が高いこと、心臓カテーテル検査で病変が明らかであること、またワクチン接種から数時間経過しておりアナフィラキシー反応としては発症までに時間が経過していることから因果関係を否定している。報告医（主治医の一人）は、搬送先の医療機関において因果関係を否定されていることから、ワクチン接種との因果関係を関連なしとしている。

(参考2)

平成22年3月5日(金)～平成22年3月24日(水)に報告された重篤症例の経過

「受託医療機関における新型インフルエンザ(A/H1N1)ワクチン接種実施要領」に基づき医療機関から厚生労働省宛に報告された副反応症例

※ 各症例に関する因果関係に関する評価は、ワクチン接種事業やワクチン自体の安全性の評価のために、評価時点での限られた情報の中で評価が行われています。したがって、公表した因果関係評価は、被害救済において請求後に行われる個々の症例の詳細な因果関係評価の結果とは別のものです。

(症例1) 四肢痛 (未回復)

70代 女性

既往歴 : 調査中

経過 : ワクチン接種1～2日後、上下肢痛が悪化。鎮痛治療行うも改善なし。

他院に紹介。その後、レイノー症候群疑いにて治療中。

因果関係 : 調査中

(症例2) ショック (回復)

10歳代 男性

既往歴 : なし

経過 : ワクチン接種15分後、ふらつき、歩行困難、顔面蒼白、血圧低下84mmHg、脈拍40/分の徐脈、SpO₂92%が出現。ワゴトニー様症状を伴うショック症状となる。補液、ステロイド、カテコラミン、酸素投与。ワクチン接種50分後、SpO₂99%に回復。脈拍42/分。硫酸アトロピン投与し、ベッド臥床。ワクチン接種4時間後、血圧110/70mmHg、SpO₂99%、脈拍55/分と改善にて帰宅。

因果関係 : 調査中

(症例3) けいれん (未回復)

80代 女性

既往歴 : なし

経過 : ワクチン接種2日後、脱力、発語不明瞭、自発語減少あり。嚥下障害にて点滴療法実施。ワクチン接種12日後、左下肢ぴくつきけいれんが出現。両肢筋力低下、脱力あるが改善。話しかければ返事あり。要介助だが食事可能。介護老人保健施設にて経過観察中。

因果関係 : 情報不足

(症例 4) アナフィラキシー (回復)

10 歳未満 女性

既往歴 : 先天性食道閉鎖症術後 (2 年前)。喘息傾向 (無治療)。1 回目ワクチン接種時、異常なし。

経過 : ワクチン接種前、体温 36.9°C。2 回目のワクチン接種 1 時間後、喘鳴、陥没呼吸が出現。 $\beta 2$ 刺激剤吸入、ステロイド点滴行うも、増悪傾向があるが、帰宅。ワクチン接種 2 日後、症状あるため、受診。白血球 15,400/ μ L、Hb14.3g/dL、血小板 25.2 万/ μ L、CRP0.19mg/dL。白血球分画未測定。CRP も高くないため、帰宅。ワクチン接種 3 日後、受診。白血球 9,000/ μ L。顔の腫れが出現。聴診音に喘息中発作を疑う。胸部 X 線にて肺炎所見なし。SpO₂ 89~90%、ウイルス・細菌感染陰性。入院にてプレドニゾン点滴開始。ワクチン接種 6 日後、喘息大発作が出現。テオフィリン使用。その後、順調に回復。モンテルカストナトリウム、去痰剤、 $\beta 2$ 刺激剤投与にて安定。ワクチン接種 12 日後、退院。ワクチン接種 13 日後、アナフィラキシーは回復。その後、少量の医薬品使用にて経過観察中だが、状態は安定。

因果関係 : 否定できない

(症例 5) 肝機能異常 (軽快)

70 代 男性

既往歴 : 糖尿病。胃癌術後 (6 年前)。医薬品による副作用歴なし。ボグリボース、プロチゾラム、酸化マグネシウム、ロキソプロフェンナトリウム、チザニジン塩酸塩、レバミピドを数年以上前より服用中。チメピジウム臭化物水和物、チメピジウム臭化物水和物を 1 年以上前より頓服。

経過 : ワクチン接種翌日、高熱が出現し、受診。インフルエンザ迅速検査陰性だが、臨床的にインフルエンザと診断し、オセタミビルリン酸塩投与するが、高熱持続。ワクチン接種 3 日後、受診。インフルエンザ迅速検査陰性。腹部 CT、エコーを実施。胆道系異常なし。腫瘍なし。総ビリルビン値 1.5mg/dL と肝障害を認めたため入院。全ての内服薬中止し、経過観察。ウルソデオキシコール酸、グリチルリチン・グリシン・システイン投与開始。ワクチン接種 5 日後、解熱。肝障害改善傾向。オセタミビルリン酸塩 DLST 陰性、ワクチン DLST 陽性。ワクチン接種 14 日後、AST 129IU/L、ALT 217IU/L、総ビリルビン値 0.7mg/dL と肝障害遷延にて転院。胆管癌疑い。

因果関係 : 調査中

(症例 6) ギランバレー症候群 (不明)

70代 男性

既往歴 : 高血圧症、狭心症にて外来通院中。イソソルビド硝酸塩、ニフェジピン、アスピリン腸溶錠、アンプラゾラム投与中。アレルギーなし。ワクチン接種前約 1 ヶ月前、上気道炎に対して総合感冒剤、ジメモルファンリン酸塩、セラペプターゼ、L-カルボシステイン処方。ワクチン接種前 1 ヶ月間に抗生物質投与なし。

経過 : ワクチン接種約 2 ヶ月前、季節性インフルエンザワクチンを接種。異常なし。ワクチン接種 3 日後、両下肢、両手首から指先までのしびれが出現。感覚障害の有無は不明。ワクチン接種 7 日後、症状改善せず受診。頭部 MRI にて異常なし。メコバラミン処方。ワクチン接種 8 日後、救急外来受診。消化器症状訴えに対してファモチジン処方。ワクチン接種 9 日後、症状改善せず、受診。かろうじて歩行可能で、診察室に倒れ込む。検査目的入院。下肢しびれ著明、立位保持不可、左顔面筋力低下が出現。構音障害なし。嚥下障害あり。腱反射は下肢減弱、上肢あり、左右差なし。頭部 MRI にて脳梗塞所見なし。ワクチン接種 10 日後、症状は初発時より徐々に悪化。左顔面麻痺、構音障害（口のしびれ、嚥下障害）が出現。腰椎穿刺にて、髄液は無色透明、混濁なし。細胞数異常なし。蛋白 92mg/dL、糖 90mg/dL。髄液所見にてギランバレー症候群疑い。専門病院へ転院。末梢神経伝導検査にて脱髄、軸索変性所見ありギランバレー症候群の診断。免疫グロブリン大量療法、リハビリ開始。

因果関係 : 因果関係不明

(症例 7) ギランバレー症候群 (軽快)

70代 女性

既往歴 : 慢性 C 型肝炎（現在、インターフェロン投与は行っていない。過去の治療歴不明）、腰椎すべり症。ワクチン接種で今回のような症状の既往歴なし。

経過 : ワクチン接種約 3 ヶ月前、季節性インフルエンザワクチンを接種。症状なし。ワクチン接種 10 日後、両手異常感覚が出現。ワクチン接種 13 日後、歩行障害が出現。脳神経外科にて CT 検査を行うも異常なし。大学病院を紹介。ワクチン接種 15 日後に受診し、精査・治療目的で入院決定。ワクチン接種 16 日後、両顔面神経麻痺が出現。ワクチン接種 20 日後、症状はいずれも進行性に増悪。四肢の運動神経障害あ

り。入院。神経伝導検査にて伝導ブロックあり。血液検査にて細菌、ウイルス感染所見なし。神経伝導検査実施。髄液検査にて蛋白細胞乖離あり。頭部、脊椎 MRI にて器質的疾患なし。検査所見にてギランバレー症候群の診断。大量免疫グロブリン療法 5 日間実施。リハビリ開始。その後、順調に改善。左側顔面麻痺のみ残存し、それ以外の症状は改善。近日中に退院予定。

因果関係：副反応としては否定できない。GBS は否定できない。

(症例 8) ADEM (回復)

10 歳未満 女性

既往歴：無。

経過：ワクチン接種 14 日前、新型インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種 6 日後、38℃の発熱、咳、鼻水が出現。風邪様症状。ワクチン接種 8 日後、インフルエンザ検査 A 型陰性。ワクチン接種 17 日後、夕方、頭痛、微熱あり。ワクチン接種 19 日後、38.7℃の発熱が出現。ワクチン接種 20 日後、夕方、ぐったりと寝てばかり、反応不良、有意語消失。ワクチン接種 21 日後、微熱、意識障害にて入院。運動神経障害、視神経障害なし。血液検査にて白血球数、CRP 正常値。頭部 MRI にて皮質下白質に散在性に T2High の斑状異常信号あり。髄液細胞数 34/3、ミエリンベースック蛋白 709 に上昇。オリゴクローナルバンド陰性。ステロイドパルス 2 クール、脳浮腫対策としてマンニトール投与。徐々に意識障害回復。会話も可能となる。入院中に再度インフルエンザ迅速検査行うも陰性。

因果関係：否定できない

(症例 9) 39℃以上の発熱 (調査中)

60 代 女性

既往歴：高血圧症、牛乳アレルギー、神経因性膀胱 (自己導尿・ジスチグミンにて治療中)、臀部骨肉腫 (平成 3 年手術)

経過：ワクチン接種 3 日後、午後、39.0℃の発熱が出現。その後、体温 40.9℃まで上昇。朝食時、若干の風邪様症状あり。軽度吐気あり。就寝時、水分を少量しか摂取できない状態。JCDI-1

因果関係：調査中

(症例 10) 気管支喘息、肺炎 (軽快)

60 代 男性

既往歴　　：脳出血後遺症（8 年前発症、左側）

経過　：ワクチン接種翌日、喘鳴、発熱が出現。その後、聴診、胸部 X 線にて
喘息、気管支肺炎と診断。

因果関係　：調査中

※ 追加情報等により公表資料から修正あり